

キャリアデザイン		講義	就職委員会
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21200201

1. 授業のねらい・概要

本科目は2年次の必修科目である。大学生活において、この年次は自らの生き方や働き方をデザインし、適職の選択について考え始めなければならない時期である。自己分析を通して自らの特徴や価値観、自己資源や能力を認識し、生き方や職業についてのキャリア設計能力を修得してほしい。

また社会人となるために必要な実務的な知識や、社会で求められるスキルなどを理解・修得し、社会に飛び立つための準備としてほしい。

2. 授業の進め方

自らの性格・特質や能力・資源を客観的に認識できるように、毎回の講義とともにワーク・課題が行われる。それぞれのワークの成果や課題として作成した文書は、今後の就職活動等に活用できるものであるので、必ず保管しておくこと。

なおこれらのワーク・課題はグループワークのかたちで行うことがあるが、グループワークは各自が積極的に参加することによってはじめて成り立つものであり、協力して進めるようにしてほしい。

3. 授業計画

(外部講師の関係でスケジュールが前後する場合がある)

1. ライフデザイン1 (イントロダクション)	9. 自己表現1 (文章表現の基礎)
2. ライフデザイン2 (ライフキャリアの考え方)	10. 仕事研究3 (労働法を知る)
3. 自己分析1 (自己認知と他者認知)	11. 自己表現2 (グループコミュニケーション)
4. 自己分析2 (興味と価値観)	12. 自己分析5 (職務適性検査結果分析)
5. 仕事研究1 (さまざまな仕事と働き方)	13. 自己表現3 (口頭による自己アピール)
6. 仕事研究2 (業種・職種研究)	14. 仕事研究4 (インターンシップ・職業体験)
7. 自己分析3 (社会人として求められる能力)	15. 全体のまとめ
8. 自己分析4 (職務適性検査実施)	

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業で扱ったそれぞれの項目について必ず復習と振り返りを行うこと。この事後学修には2時間程度が必要である。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

ワーク・課題については、その都度解説・添削などを行う。

6. 授業における学修の到達目標

将来に向けた自己の生涯・生活についての展望を持ち、社会において求められる知識やスキルを修得することができる。

7. 成績評価の方法・基準

受講態度 (10%)、課題の提出状況 (50%)、および定期試験 (40%) によって評価する。

8. テキスト・参考文献

毎回資料を配布する。参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

当科目はこれから社会人として生きていくために必要な知識やスキルを修得するうえで大切な内容を含んでいる。ま

た，内容に連続性があるため毎回ともくれぐれも欠席しないこと。各講義で行うワーク・課題はその都度必ず提出すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。